

国際力動的心理学療法学会第二十一回年次大会の報告

熊本大学大学院生命科学部臨床看護学分野教授 宇佐美しおり
平成二十七年十一月十六日〜十七日に、

熊本大学大学院生命科学部研究部において、国際力動的心理学療法学会第二十一回年次大会を開催した。全国から多くの看護師、臨床心理士、医師、精神看護専門看護師(CNS)、作療法士など多職種が参加した。テーマは「無力感の克服」であり、国内では、小谷英文博士(PAS心理教育研究所所長、国際基督教大学名誉教授)、国外からはセス・アランソン先生(ウイリアム・アランソン・ホワイト研究所)、ラルフ・モラー先生(レイノルド・アーミー・コミュニティ病院)を招聘し、大会を開催した。

大会長講演では、精神看護で注目されてきたオレム・アランダ・ウッドのセルフケアモデルに精神力動理論の精神的分析的システムズアプローチ(PSYCHOANALYTIC SYSTEMS THEORY)を導入し、入院を繰り返す患者や行動化を繰り返すケア困難患者への介入理論の必要性が述べられた。
さらに、基調講演では、小谷博士より、危機をどう克服するのか、死に向かうエネルギーを生きるエネルギーにどう転換できるのか、危機時であるからこそ人の格機能の再編、治療装置としての心的安全空間を作ることで、患者が外的恐怖に

おいても自分の自我機能を動かし自己の世界を広げながら生き続けることが可能であること、そして治療装置において、今一ここでの変化の過程をとらえること、変化の過程への支援の必要性と重要性が述べられた。

さらに、スタートアップセミナーでは「ひきこもりの病理」(池上研先生、池上第二クリニック)、「精神科リエゾンチームの効果的な展開」(野末聖香教授、慶応義塾大学看護医療学部)、「精神力動的理解とアプローチー看護職の立場から」(岡谷恵子他、東京医科大学医学部看護学科学科教授)、また特別セミナーでは、日本CNS協議会との共催で「精神看護CNS事例検討セミナー」、アロンソン先生、モラー先生らによる「PTSDのための精神力動法の基本的な技術」「青年期の心理療法ー青年期創造性短期集中グループ」を開催し好評であった。また、事例研究、事例検討会、全体セミナーを開催し、PTSDや抑うつが増加している現代において、無力感をどう克服できるのか、そのための理論と介入技法、他職種に共通する治療やケアの理論整備の必要性を共有し、成功裏に終えることができた。

ご支援いただきました肥後医育の皆様
に感謝いたします。

平成二十七年国立大学附置研究所・センター長会議第二部会シンポジウム報告

熊本大学発生活学研究部 西中村隆一

平成二十七年十月三十日(金)〜三十一日(土)に熊本大学発生活学研究部が当番校として、KKRホテル熊本、熊本市国際交流会館にて、平成二十七年国立大学附置研究所・センター長会議第二部会シンポジウムを開催いたしました。

一日目の会議は、国立大学の医学・生物学系の三十四の附置研究所・センターの所長等が一堂に会して行われました。冒頭、文部科学省からお招きした牛尾則文研究振興局学術機関課長に、附置研究所・センターに関連の深い「共同利用・共同研究体制の強化・充実について」と題してご講演いただき、活発な意見交換が行われました。引き続き会議では、本学発生活学研究部中尾光善所長(当時)が議長となり、各研究所、センターの活動状況等について実例紹介を交えながら議論が進められ、研究所等の今後の取り組みについて、終了直前まで熱心な討議が展開されました。

二日目は、会場を熊本市国際交流会館に移し、『高校生・市民のための大学特別授業「生命の謎に迫るシンポジウム」きみのチカラが科学を拓く未来を創る』が、科学を拓く 未来を創る

」と題してシンポジウムを開催しました。このシンポジウムは広く一般の方々を対象として開催され、中学生・高校生から年配の方まで、実に幅広い年齢層の方々約一四〇名の参加がありました。シンポジウムでは、東北大学加齢医学研究所所長の川島隆太教授が「自分の脳の鍛え方」、京都大学霊長類研究所所長の平井啓久教授が「人間とは何か?」、本学の発生活学研究部副所長(当時)の西中村隆一教授が「腎臓をつくる」と題してそれぞれご講演いただきました。会場とのやりとりを交えながら、最先端の研究内容を極めて解りやすくお話しいただき、参加者はメモを取りながら熱心に聴講して行きました。各講演の終了後には、会場から多彩な質問が相次ぎ、盛会のうちに終了することができました。

末尾となりましたが、本会議・シンポジウム開催に当たり、肥後医育振興会から多大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

平成27年度国立大学附置研究所・センター長会議 第2部会シンポジウム
高校生・市民のための大学特別授業

生命の謎に迫るシンポジウム初公開!

きみのチカラが科学を拓く未来を創る

2015年10月31日
9:30-11:40(8:30受付開始)

東北大学加齢医学研究所 所長 川島 隆太 教授
「自分の脳の鍛え方」

京都大学霊長類研究所 所長 平井 啓久 教授
「人間とは何か?」

熊本大学発生活学研究部 副所長 西中村 隆一 教授
「腎臓をつくる」

会場: 熊本市国際交流会館
〒961-8502 熊本市中央区国際交流会館1001号
TEL: 099-534-2000

主催: 熊本大学発生活学研究部
協賛: 肥後医育振興会